

語釈：インターネット Twitter 上でみる Trump 前米大統領の英語 (65)

(A Basic Way of Reading Trump-Language)

後藤 寛

今回も ogdenology (Basic 言語学) の視座からポイントを絞り出していくが、取り扱い上その場限りの事項はないはずで特別に重要な事項は繰り返しても織り込み、断続的ではなく有機的にすべてつながるよう配慮している。本連載(57)などで触れたが、母国語習得ではない外国語修得(foreign language acquisition)では ①「分かる」→ ②「覚える」→ ③「使える」となる。まずは①での丸わかり、次に②, ③での実践錬(practice)へとなる。ここで **patterneme** (パターン素) の認知(recognition)の次元ともなる。pattern 認知上での臨床的な病を仮に命名すれば「言語パターン認知症(linguistic patternal dementia)」か? [cf. Ogden-Richards, *The Meaning of Meaning* (pp.218-219)参照]。

この②, ③には本連載(62), (63)で触れた「耳に聞こえてくる感覚」で読む reading 法がある。筆者独自にこれを「超高速幻聴黙読」(aurally hallucinated super-rapid silent reading: AH-SRSR)とも称しているが、自ら発見(enlightenment)した黙読上での心理的な悟り(仏教的な *satori* ?)で、憑(と)りつかれたような境地(in a trance)での幻聴黙読である。これは特に聖書読み (Bible reading) でいわゆる神の声(the Voice of God)を聴くには有効なものとなるがその応用である。

ただし精神統一が必要でこの状態維持は意外に難しい。とかく文字が目映りリズムが崩れがち(out of rhythm)ともなるが、この心的状態(mental state)での速読 practice は慣れで pattern recognition 力を培う。慣性(inertia)に乗ったリズムカルな音感を保ちつつの耳での超高速反復黙読である。効果はてき面に現れる。これは人から習って習えるものではなく、自ら体験し発見していくもので、その点からも秘技である。なお、AH-SRSR: 'aurally hallucinated super-rapid silent reading' 中の[l], [r]音も文字を超越し音感で受けとめたい。[l]音と[r]音の聴覚上での明確な2分割である。

今回は(1)で Trump 氏が New York Times 社を、(2)では Washington Post 社を批判しているものをスペイン語翻訳版とも照らし合わせ(それを1つの鏡: mirror として)バイリンガルで見してみる。

(1) The New York Times will be out of business soon after I leave office, hopefully in 6 years. They have Zero credibility and are losing a fortune, even now, especially after their massive unfunded liability. I'm fairly certain they'll endorse me just to keep it all going! (August 18, 2019)

▲「New York Times 社は、願わくば6年後と言いたいですが私が大統領を辞めれば破産するだろう。まったく信頼できなく特に巨額の負債を抱えたあと現在も赤字である。彼らが私を支持するのは何とか会社を維持するためだ!と思っている」という内容。

下線の hopefully (願わくば) は英語話者のアメリカ人は日常的に頻繁に用いる。日本人でこういう語をすんなり用いる人は現地での衣食住の生活上での原体験者だと見て取ってよい。

太線語 unfunded (資金のない) の fund (資金) の原義は「底・基礎」であり、found (設立する)、foundation (設立)、profound (深い) などは同系語。PIE etymon (印欧祖語の語根部) の morphophoneme (形態音素形) は/BHUDUH/が復元されている。[b]音をもつゲルマン系の語に「底」を意味する語がないか? である。un-Basic 語に bottom があり同系語である。なお、Basic 語の **base** はこの血統ではない。base はギリシャ語経由の語で「足で低く踏みならす」という語感をもつ。

太線語 *liability* は Basic ではビジネス・経済学用語としてのプラスα語でイタリック体としておくが、「負債」の意味である。語根部は li で *liability* とは「縛ることができる」が原義であるが、縛ることは「糸」などの線状となる。本連載前々回(63)の(3)ですで見したが、PIE etymon /LINO/からの Basic 語 **line, linen, long** などと同系と言えよう [拙著(2016)「松柏社」、第二部、例(3)参照]。

太線の Basic 語 **certain** に関しては本連載(44)の(1)で扱ったが確認しておきたい。元は「穀物の受粉核、丸い芯」のことで、これが堅いことから「確かなこと」の意味となった。Basic 語 **secret, increase, curve, cord, record, credit** など、プラス α Basic 語 *certificate* (証明書)、*decrease* (減少)、*circus* (サーカス) など、un-Basic 語 *cereal* (穀類)、*sincere* (誠実な)、*corn* (トウモロコシ) などはずべて同系語である〔さらに他の多くの例は同上拙著、第二部、例(14) (128)参照〕。

太線語 *endorse* (真に認める) は味のある語で、本連載(2)の①で確認済みである。

前回(64)で J. A. Comenius (J. A. コメニウス) の世界を図絵で見る『世界図絵』との絡みで言ったが、世界の在り方を語(words)で見せる「世界語彙」たる Basic 語彙を尺度に何かと見ていきたい。

〔以下、スペイン語翻訳版もある tweet (2018.01-05)より — 2言語対照〕

(2) A woman I didn't know and, to the best of my knowledge, never met, is on the FRONT PAGE of the Fake News Washington Post saying I kissed her (for two minutes yet) in the lobby of Trump Tower 12 years ago. Never happened! Who would do this in a public space with live security cameras running? Another False Accusation. Why doesn't @washingtonpost report the story of the women taking money to make up stories about me? ... (February 20, 2018)

cf. Una mujer a la que no conozco y, hasta donde yo sé, nunca conocí, está en la PORTADA del Falso Medio Washington Post ; dice que la besé (durante dos minutos) en el lobby de la Torre Trump hace 12 años. ¡Nunca pasó! ¿Quién haría eso en un espacio público con seguridad en vivo cámaras funcionando? Otra Acusación Falsa. ¿Por qué el @washingtonpost no publica la historia de las mujeres que reciben dinero por inventar cosas sobre mí? ... (20 de febrero, 2018)

▲これは Trump 氏が大統領になる以前の女性問題と絡んだスキャンダルの1つでよく知られたものである。このテキスト文も上記、超高速の反復「幻聴黙読」で *patternism* (パタニズム) が体験でき、冒頭で言った patterneme (パターン素) のすくい取りができたろうか? 超高速反復幻聴黙読は *pattern* の *internalization* (内在化) で慣れで *reading, listening, writing, speaking* 力を培うと同時に、心理的な *after-reading feelings* (読後感) としての feelings なるものが意味に加わってくるところもポイントと言える〔なお、用語 *patternism, patterneme* は筆者独自の命名・呼称である〕。

内容は「私の知らない女性、記憶にある限りまったく面識のない女性が偽報道の Washington Post 紙の第一面に出ていて、私が 12 年前に Trump Tower のロビーで彼女に接吻(kiss)をした (しかも 2 分間) と言っている、とんでもない! 防犯カメラ設置の公の場で誰がやる? なぜ Washington Post 社は私にまつわる話を捏造し金を取ろうとする女性たちを報道しないのか?...」というものである。

関連して当時、メディアが Trump 氏が言ったとかで大きく取り上げた言葉が次のものであった。

“I'm automatically attracted to beautiful women — I just start kissing them, it's like a magnet. Just kiss. I don't even wait. And when you're a star, they let you do it. You can do anything. ...”

これは驚きである。書き起こし(transcription)もされ当時ネット上にも出たが、今日も閲覧できる。本物か偽物か? 英語に *ogle* という語もあるが、彼が女性に妙な視線を向けたというのか?

“Money is the root of all evils.” 「金が諸悪の根源なり」と言うが、もしも莫大な金目的で大統領のスキャンダルとし公にした? のであればその人物の意図は邪悪極まりない。また *I'm automatically attracted to beautiful women* での beautiful women とは Trump 氏の基準ではどういう *women* か?

Basic 語 **beautiful** の本来的意味定義はやはり難しい。この 'beautiful' の意味概念に関して深く見るにはやはり Ogden-Richards, *The Meaning of Meaning* (Chapter VII, pp. 139-159) が参考となる〔*The Meaning of Meaning* の初版(1923)は改訂され筆者の手元の版は 10th edition (1952)〕。ここで特別に 1 章を設けて論述される。'beautiful' は EP 本では II の p.138 で初出となるが、p.143 の末尾で *There is no measure of the beautiful.* (美に尺度はない) という文で象徴的に示される。「美」の概念は古代ギリシャの プラトン(Plato)風の idealism (イデア論)の問題ともなる〔本連載(61)参照〕。

一時、化粧品 TV コマーシャルで ‘For beautiful human life’ というものがあつたが、beautiful human life とはどういう human life だろうか？衣食住の食にも美があるとし日本語で「味覚がよいこと」を「美味(おい)しい」と漢字の「美」があてられもした。

上の(2)の tweet 文中での太線語で Basic 語 **kiss** は一般には onomatopoeia (擬音語) とされているが、印欧祖語までさかのぼるとどうやら「口」の意味とも関わる音素形/KUS/(KWAS/)に由来するらしい。/k/, /s/をもっている。なお、簡潔な文のことを KISS 文と言うが **Keep it short and simple** の略である。Trump 氏の英語は短く簡潔で、その点では KISS 文である。

次の太線の Basic 語 **camera** は PIE etymon の音素形/KAM/からとされ、元来は「部屋」の意味であつた。特に天井の丸い部屋・建物のことで、chamber (会議場・執務室)などは同系語である。camera はギリシャ系の語で、chamber はラテン系である。camera は写真機の中央部の「暗箱」に由来する。

さらに太線語 accusation (非難・告発)は「理由・弁明」を意味する語根 cuse をもっていて、Basic 語の **cause, because** と同系である。un-Basic 語の excuse も同系。excuse は morpheme / semanteme (形態素) {ex (= out) + cuse (= cause)} ということであり、「弁明なしとする」の意味である。形態素は基本的にすべて Basic 語で示されうる [同上拙著、第二部、例(124)参照]。

cf. のスペイン語 nunca, falso(-a), medio, durante, dos, minutos, torre, pasó (< pasar), espacio, público, seguridad, vivo, otra, acusación, funcionando (< funcionar), no, publica (< publicar), historia, reciben (< recibir), inventar, mí は、それぞれ英語の **never** (< no + ever), **false**, media, during, duo, etc., **minute**, tower, pass, **space**, **public**, security, live[láiv], **other**, accusation, function, **no**, (make) **public**, **story**, receive, invent, **me** が対応すると同時に同系語である (太字体は Basic 語)。なお、lobby は英語からの借用語で、スペイン語音は[lóβi]である。[β]は語中で起こり、[b]に比べ唇の閉鎖がやや弱くもあり軽く響くスペイン語音ではあるが、特に気にする必要はない。

文中に hasta donde yo sé (私の知る限り)とある。これは英語のほうの as far as I know を pseudo-nominalization (疑似名詞化)させた Basic 表現 to the best of my knowledge に近い。「私の知る限り」はスペイン語では本来は叙実法の動詞 sé ではなく主観的な叙想法(仮定法) [スペイン語では「接続法(subjuntivo)」と言うが] の sepa を用い que yo sepa とするが、叙実法の sé は強意と言えよう。

なお、英語での as far as I know / to the best of my knowledge 中の 人称はやはり 主観性の関わる 基本的に一人称単数形の I / myに限られると考えるとよい。注目すべき ポイントと言えろ。

(演習) 本連載 (61) ~ (65)より

1) ~ 3) は「音感・語感・意味」の一体化を確認するものである。すべて見てきた例で、身につけていればほぼ即座に全正解できるはず。4) も本連載ですでに相当数の例を扱ってきている。

- 1) 次の a) ~ l) の語は下の①~⑫の Basic 語 (イタリアク体はプラス α Basic 語) のどれと同系か？
- a) petroleum b) correct c) rapid d) drag e) disparage f) rank g) oblige
h) liberty i) missile j) stand k) sincere l) chamber

* * *

- ① **camera** ② **certain** ③ **committee** ④ **dry** ⑤ **existence** ⑥ **father**
⑦ **level** ⑧ **parallel** ⑨ **range** ⑩ **regular** ⑪ **religion** ⑫ **robe**

2) 次の① ~ ⑧のそれぞれの語群で 1つ同系でないものはどれか？ (太字体は Basic 語、イタリアク体はプラス α Basic 語、*印は Basic の範疇語、標準体は un-Basic 語)

- ① **father**, origin, pattern ② foreign, **range**, **right** ③ **regular**, rob, robe
④ decade, December*, **dry** ⑤ **parallel**, part, patriot ⑥ **lift**, lingerie, **love**
⑦ **feeling**, free, friend ⑧ **because**, excuse, promise

3) 「世界語彙」として C. K. Ogden が rock を general science word (一般科学用語) とともに verse word (韻文用語) の 1 語とし、Basic プラス α 語に選定したと考えられる理由は？

4) 上の 2)の英文 tweet text 文例の分かり方を仮称 MSOE モデルでの仮現運動スクリーン上に乗せ、現実には目には見えない不可視の pattern で確認すればどのようなものとなるか？

.....

[正解]

1)

a) ⑥	b) ⑩	c) ⑫	d) ④	e) ⑧	f) ⑨
g) ⑪	h) ⑦	i) ③	j) ⑤	k) ②	l) ①

2)

① origin	② range	③ regular	④ dry	⑤ patriot	⑥ lingerie
⑦ feeling	⑧ promise				

3) rock (岩) は英語で「キリスト(Jesus Christ)」の意味にもなる [本連載(61)、また Basic 聖書 BBE: *The Bible in Basic English* 「コリント人への書簡 I (10 章 4 節)」: (I) Corinthians (10:4)参照]。

4)

STATEMENT					
		THEME : NP	RHEME : VP		
STR	C/C	N ₁	COP/V	N ₂ /N ₃ /A	ADV
1	φ	A woman	φ	φ	φ
2	φ	I	didn't know	φ	φ
3	and,	φ	φ	φ	to the best of my knowledge,
4	φ	φ	never met, is	φ	on the FRONT PAGE of the Fake News Washington Post /
5	φ	φ	saying	φ	φ
6	φ	I	kissed	her	(for two minutes yet)
7	φ	φ	φ	φ	in the lobby of Trump Tower
8	φ	φ	φ	φ	12 years ago. //
1	φ	φ	Never happened ! //	φ	φ
1	φ	Who	would do	this	in a public place /
2	with	live security cameras	running ? //	φ	φ
1	φ	φ	φ	Another False Accusation. //	φ
1	φ	φ	φ	φ	Why
2	φ	@washingtonpost	doesn't (∞) report	the story of the women	φ
3	φ	φ	taking	money /	φ
4	to	φ	make up	stories	about me ? //

<訂正>かなり以前のことになるが、完全さを目ざしてはいてもミスは避けられず Newsletter 発行後に本連載(55)と(56)の 3)での試問で扱った *vision* と *soil* の例で勘違いミスをしていた。双方とも プラスα Basic 語 である (すでに修正済み)。もう 1 点は細かいミスで本連載前々回(63)、4 頁目での [l]音と [r]音 (米音) の現れる文中の箇所 ... open our hearts ... での our の末尾 r を太字体で **our** とする。

